

2015 SGH通信

【全体配布用】

No5 岐阜県立大垣北高等学校 SGH 推進部

大垣共立銀行土屋嶮頭取をお迎えして、グローバル講演会を実施しました！

6月30日（火）6限目 1年生322名対象

座談会30名参加



【OKBの理念を語る土屋嶮頭取】



【9・11を語る坂井田常務】



【グローバル人材の資質を語る後藤部長】

◆土屋嶮 頭取のお話

顧客目線の経営理念が海外から評価を受けている事例を、海外メディアで取り上げられたニュース映像を流しながら説明された。具体的には、ロシア国営テレビ・中国中央テレビ・韓国K Tの3局において放映された「手のひら認承ATM」、「ドライブスルーATM」、「365日営業」などのサービスである。「手のひら認承」については、東日本大震災で銀行通帳やカードを流されて大変な思いをする人が多かったという教訓から生まれたもので、利便性に止まらない顧客目線のサービスの極みであることを力説された。

◆坂井田勉 常務取締役のお話

2001年9月11日のワールドトレードセンタービルへのテロが起こった時、ニューヨーク支店長としてどのように危機を乗り切ったのかを、VTRを活用してお話された。情報管理のバックアップ体制等、日頃から危機に備えることの必要性を教訓として語られた後、結びとして「(危機が起こった時には)マニュアルは役に立たない。常識をベースにして臨機応変に対応すべきだ。」と危機を乗り越えられたからこそ語ることができる説得力のあるお言葉で話を終えられた。

◆後藤勝利 海外事業推進部部長のお話

グローバル人材に必要な資質として、①丈夫な胃袋、②コミュニケーション能力、③鈍感な心の3点を挙げられた。特に③の「鈍感な心」を強調され、「傷つきにくく、立ち直りが早く、細かい所に捉われない心」を持つことが、海外赴任をすると非常に大切になることを、様々なトラブルを事例に語られた。また、②のコミュニケーション能力については、英語に加えて現地の言葉を使えることの必要性にも触れられた。そして、「日本のことをしっかり学んで、現地の言葉で日本のことが答えられるようにして欲しい」と11年間の海外赴任生活から得られた教訓を、生徒へのエールとして話を終えられた。